



BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY

弘前学院大学

看護紀要

第11巻

Volume 11

2016

目 次

《総 説》

高齢者における味覚の変化と今後の研究課題	小 野 綾	1
----------------------------	-------	---

《研究報告》

子どもとの関係構築に関する看護学生の意識構造

～ロールプレイ場面の面接から～	齊 藤 史 恵	13
	齋 藤 美紀子	

回復期リハビリテーション病棟における脳血管障害の再発予防に向けた

教育的介入の試み	對 馬 牧 子	25
----------------	---------	----

弘前学院大学看護学部専任教員 2014年度教育研究業績		35
-----------------------------------	--	----

弘前学院大学看護紀要投稿規程

1. 投稿資格：投稿は、連名者も含めて、1) 本学の専任教員 2) 非常勤講師 3) 本学の学生（研修生・研究生を含む） 4) 紀要委員会が認めた者とする。
2. 原稿の種類：原稿は、総説・原著・研究報告・その他のいずれかであり、原稿にそのいずれかを明記する。いずれも、未発表のものに限る。
3. 倫理：人および動物が対象である研究は、大学倫理委員会の決定を遵守して、倫理的に配慮された研究でなければならない。その旨を本文中に明記する。
4. 投稿手続き：1) 投稿原稿は、審査のため3部（うち2部はコピーでもよい）を提出する。2) 受理後の最終原稿は、本文をMS-Wordあるいはテキストファイル形式で作成し、印刷媒体3部（うち2部はコピーでもよい）および電子媒体に保存したもの、あるいはE-mail^{注1)}で提出する。
5. 原稿の受付および審査：1) 投稿原稿の受付期間は前もって紀要委員会より通知する。また郵送による場合は、期限当日の消印有効とする。2) 投稿原稿の採否は紀要委員会および紀要委員会が依頼した査読者（学外を含む）による査読を経て、紀要委員会が決定する。3) 紀要委員会の審査により、原稿の修正、削除、加筆および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。4) 原稿の掲載順、印刷の様式は紀要委員会が決定する。
6. 執筆要領：原稿は、A4横書きとする。
 - 1) 論文には表紙をつけ、論文表題、英文題名（すべて大文字）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英文名とも）、図、表および写真等の数、希望する原稿の種類、投稿者の連絡先（住所、電話、FAX、E-mailアドレス）を記入する。
 - 2) 論文には400字程度の和文要旨と250語以内の英文要旨を添え、日本語および英語のキーワードを4語ずつ加える。
 - 3) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない述語等は原語で書く。
 - 4) 略語は、初出時に正式用語またはスペルを記入する。
 - 5) 度量衡の単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 6) 英文原稿および英文要旨はネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明を添付する。
 - 7) 図、表、写真は図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。なお、カラー印刷は受け付けない。
 - 8) 引用文献
 - ①引用文献は本文中に著者名、（発行年次）、を表示する。
 - ②引用文献は著者名のアルファベット順に列記して文献には片括弧つきの番号をつける。
 - (1) 雑誌掲載論文
著者名（発行年次）、論文の表題、誌名、巻（号）、最初のページ－最後のページ
 - (2) 単行書
著者名（発行年次）、書名（版数）、発行地
著者名（発行年次）、論文の表題、編者名、書名（版数）、ページ数、出版社名
 - (3) 訳本
原著者名（原著の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地
7. 著者校正は初校のみとし、校正時の加筆は認めない。2校以降は紀要委員会が行う。
8. 別刷は30部まで無料とし、30部を超える部数については自己負担とする。

注1) 投稿先のE-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

編 集 後 記

弘前学院大学「看護紀要」第11巻への投稿原稿を2016年1月上旬に看護紀要委員会にお寄せいただき、その後、1編につき2名の査読者による2回の詳細かつ丁寧なご校閲によって、また投稿者ご自身のご努力もあって、「看護紀要」第11巻に3編の論文を掲載することができました。多忙を極める中、査読を快諾された先生方に、この場を借りて御礼を申し上げます。

また、今回から新たに、弘前学院大学の文学部、社会福祉学部にならって、看護学部でも専任教員の2014（平成26）年度の教育研究業績を「看護紀要」第11巻に掲載することに致しました。これを契機に、本学看護学部の教育と研究がなお一層、活発に進展することを祈っております。

「看護紀要」第11巻の発行にあたり、スケジュール作成や編集作業を分担された紀要委員の先生方に感謝申し上げます。

2016年3月31日

弘前学院大学看護学部紀要委員会

委員長 千葉 正司

弘前学院大学看護学部紀要委員会

千葉正司，工藤千賀子，金子夏弥

弘前学院大学 看護紀要 第11巻

2016年3月31日 印刷

2016年3月31日 発行

編 集 者

弘前学院大学看護学部紀要委員会

発 行 所

弘前学院大学看護学部

〒036-8231 弘前市稔町20-7

印 刷 所

やまと印刷株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY
Volume 11, 2016

CONTENTS

REVIEW ARTICLE

CHANGES IN GUSTATORY PERCEPTION IN ELDERLY AND A FUTURE DIRECTION OF RESEARCH Aya ONO 1

RESEARCH REPORT

*THE STRUCTURE OF AWARENESS OF ESTABLISHING RELATIONSHIPS WITH CHILDREN AMONG
NURSING STUDENTS
-BASED ON INTERVIEWS ON ROLE-PLAY ACTIVITIES-* Fumie SAITO 13
Mikiko SAITO

*EDUCATIONAL INTERVENTION AIMED AT PREVENTION OF RECURRENCE OF
CEREBROVASCULAR DISEASE IN CONVALESCENT REHABILITATION WARDS* Makiko TSUSHIMA 25